

キクイゾウムシ類概説

Ⅲ. キクイゾウムシ亜科 (2)

森 本 桂*

Introduction to the Studies on the Weevil Subfamilies
Cossoninae, Dryophthorinae and Tribe Stromboscerini.

III. Cossoninae. Part 2.

Katsura MORIMOTO

Ⅲ. Cossonini 族

この族のうち、体が円筒形で吻の短い仲間を Voss (1955) や Folwaczny (1973) は Stereocorynini 族 (=Rhyncolini) に含め、また触角中間節が5節のものは Lacordaire (1866) 以来 Pentarthri 族とされることがある。ここでは Cossonini 族を最も広い意味に扱い、前報の定義に従っておく。この族は東アジアと太平洋の島々から約110属が知られているが、ここには日本に分布するものだけの検索表を示しておく。その他のものについては Morimoto (1973) を参照されたい。

日本産 Cossonini 族の属への検索表

- 1(30) 触角中間節は5節。
 2(9) 小楯板は消失する。
 3(4) 頭部は眼の後方で強くくびれる。触角柄節端は眼の後縁をこえる…………… *Dryotribus* Horn
 4(3) 頭部はくびれない。
 5(6) 体表は光沢があり、毛はない……………
 ……………… *Microtribus* Wollaston
 6(5) 体表は光沢がなく、毛がある。
 7(8) 上翅は舟形で肩は丸い。前頭部複眼間の幅は吻基部よりやや狭い。吻は前胸とほぼ等長…………… *Isodryotribus* Konishi
 8(7) 上翅の肩は直角で両縁平行。前頭部複眼間の幅は吻基部と等幅。吻は前胸より短い。上翅間室は隆起条を形成する……………
 ……………… *Choerorhinus* Fairmaire

- 9(2) 小楯板は存在する。
 10(21) 中・後跗節第3節は先端がわずかに湾入するか裁断状。
 11(12) 頭部のくびれと眼までの距離は眼の直径の2倍以上。体は細長く、吻は頭部よりはるかに長い…………… *Stenotrupis* Wollaston
 12(11) 頭部のくびれと眼までの距離は、眼の直径と等長か短い。
 13(20) 触角柄節端は眼の後縁に達するかそれをこえる。
 14(15) 頭部のくびれと眼までの距離は眼の直径と等長。体は細長くて平ら……………
 ……………… *Microcossonus* Wollaston
 15(14) 頭部のくびれと眼までの距離は眼の直径よりはるかに短い。
 16(17) 前肢基節は相接近し、基節幅の $\frac{1}{2}$ だけ離れる。吻は幅より長い…………… *Conisius* Morimoto
 17(16) 前肢基節は基節幅の $\frac{1}{2}$ 以上相離れる。吻は短く、長さとは幅は等しいかやや幅広い。体は円筒状。
 18(19) 前脛節端跗節面外角は鋭く外方へ突出する…………… *Coptodes* Marshall
 19(18) 前脛節端は外方へ突出しない…………… Genus A
 20(13) 触角柄節は眼の中央をこえない。吻は頭部より長い…………… *Pentarthrum* Wollaston
 21(10) 跗節の第3節端は深く切れ込む。
 22(23) 体は強く圧せられて扁平……………
 ……………… *Tychiodes* Wollaston
 23(22) 体は細長く、円筒状かやや圧せられ、頭部は眼の後方にくびれがあるものが多い。

* 九州大学農学部昆虫学教室

- 24(25) 上翅の肩は丸く、小楯板は小さい。前肢基節はわずかに離れる。頭部のくびれは消失
 *Microtribodes* Morimoto
- 25(24) 上翅の肩は直角状で、小楯板は正常。前肢基節はやや離れる。
- 26(27) 頭部のくびれはない。体表に光沢を欠く
 Genus B
- 27(26) 頭部は眼の後方でくびれる。体表は光沢がある。
- 28(29) 触角溝の上縁は吻中央から眼の下端へ斜長する
 *Toura* Broun
- 29(28) 触角溝は後方へ眼をはさむ形で二分するが眼には達せず、眼の上端と下端直前で終る
 Genus C
- 30(1) 触角中間節は6～7節。
- 31(36) 前胸背板基部は明らかな2湾状。跗節の第3節は2葉状をしていない。
- 32(33) 体は円筒状。中基節間突起は基節より狭い。前胸は単純に点刻される
 *Stereoborus* Wollaston
- 33(32) 体は扁平。中基節間突起は基節と同幅以上。
- 34(35) 前胸背板は一様に点刻される。吻は触角前で拡がらない
 *Heteropaseolus* Voss
- 35(34) 前胸背板には点刻の強くて密な部分と点刻の少ない部分がある。吻は触角付着点から前が急に幅広くなる
 *Cossonus* Clairville
- 36(31) 前胸背板基部はほとんど直線状（もし弱く2湾状をしているときは、第5跗節は基部で最大幅になるか、体表に光沢を欠く）。
- 37(46) 第5跗節は基部で最大幅となり、先へ細まる。
- 38(39) 第3跗節は2葉状に先端で切れ込み、第2節よりはるかに広い
 *Pseudocossonus* Wollaston
- 39(38) 第3跗節は先端で切れ込まない。
- 40(41) 触角柄節は眼の中央に達する。前胸背板基部はわずかな2湾状。吻は細長くて曲り、眼の間隔は吻基部より狭い。上翅基部は縁どられる
 *Caulophilus* Wollaston
- 41(40) 触角柄節は眼の後縁に達する。前胸背板基部は直線状。
- 42(43) 体は扁平で、吻は長さと同幅が等しい。前胸はやや幅広い。第5跗節はほとんど平行に近い
 Genus D
- 43(42) 体は円筒状。吻は長く、前胸も長い。第5跗節は先へ強く細まる。
- 44(45) 眼の間隔は吻基部よりやや狭い。前脛節は弱く2湾状
 *Heterarthrus* Wollaston (雄)
- 45(44) 眼の間隔は吻基部と同幅。前脛節は強く2湾状
 *Conarthrus* Wollaston
- 46(37) 第5跗節は基部から先へ太くなる棍棒状。
- 47(52) 体表に光沢を欠き、ときに鱗片や毛があり、泥状物に覆れることがある。
- 48(49) 上翅各間室に1列の鱗片がある。眼は半球状に横へ張出す
 *Pholidoforus* Wollaston
- 49(48) 上翅にはわずかに毛があるか無毛。
- 50(51) 第3跗節は先端が深く切れ込む2葉状
 *Exodema* Wollaston
- 51(50) 第3跗節端は切れ込まない
 *Coprodema* Wollaston
- 52(47) 体表は光沢があり、ほとんど無毛。
- 53(56) 触角柄節端は眼の中央をこえない。
- 54(55) 吻は短くて横長。上翅端外縁は多少とも拡がり、腹面より下方へ張出す
 *Xenomimetes* Wollaston
- 55(54) 吻は幅より長く、上翅端は張出さない
 *Catolethrobium* Voss
- 56(53) 触角柄節端は眼の後縁に達するかそれをこえる。
- 57(58) 頭部のくびれと眼の距離は眼の直径と等しい。体と吻は細長い
 *Proeces* Schoenherr
- 58(57) 頭部のくびれと眼の距離は眼の直径より短い。
- 59(60) 吻は細長く、頭部よりはるかに長い。触角は吻の側面中央かやや腹側につき、触角溝は上から見えない。眼の間隔は吻基部よりやや狭い。後肢第3跗節は第2節より幅広く、先端は単純か浅く切れ込む
 *Phloeophagosoma* Wollaston
- 60(59) 触角は吻側面の中央よりやや上につき、触角溝先端で広くなることがあり、また頭部より短いかわずかに長いこともある。
- 61(68) 眼の間隔は吻基部よりやや狭い。吻は頭部より長いか等長。

- 62(63) 上翅基部は縁どられる……………
 …………… *Heterarthrus* Wollaston(雌)
 63(62) 上翅基部は縁どられない。
 64(67) 吻は頭部より明らかに長い。第3跗節は一般に第2節より幅広く、先端は切れ込んで2葉状。
 65(66) 吻は偏平で光沢を欠き、ほとんど曲らない。眼後方のくびれは背面で消失する。頭頂は前頭から明確に区別できず、後方へ段々点刻は少なくなる…………… *Aphanocorynes* Wollaston
 66(65) 吻は隆起し、頭部と同じ光沢をもつ。点刻

- のない頭頂は前頭からくびれで境される……………
 …………… *Oxydema* Wollaston
 67(64) 吻は頭部と等長かやや長い。後肢第3跗節は第2節よりわずかに幅広く、先端は浅く切れ込むか裁断状…………… *Macrorhyncholus* Wollaston
 68(61) 眼の間隔は吻基部と同幅で、第3跗節端は浅く切れ込むか裁断状。
 69(70) 前脛節端跗節面外角は鋭く外方へ突出する。頭部のくびれは眼にほとんど接している。眼は大きくて強く隆起し、後頭部側縁は平行…………… *Coptus* Wollaston

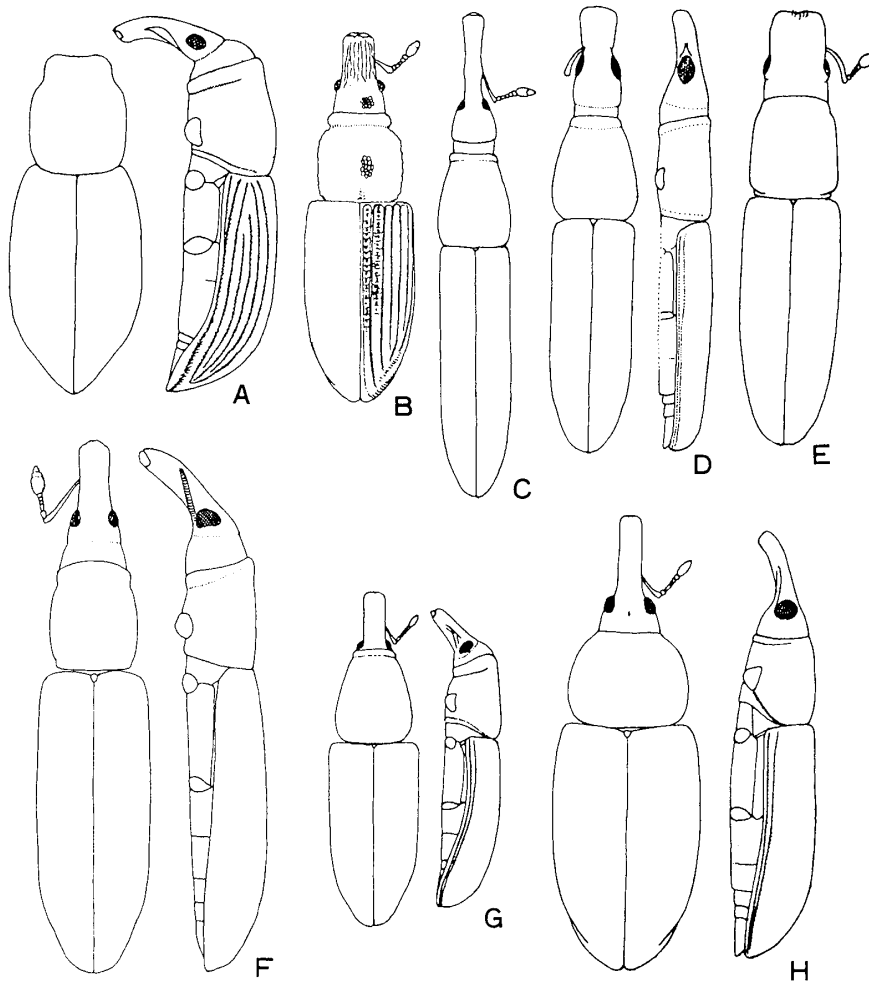


Fig. 1. A. *Dryotribus mimeticus* Horn (Florida).
 B. *Choerorhinus gronopiformis* (Wollaston) (Japan, type).
 C. *Stenotrupis crassifrons* Wollaston (Makian I., type).
 D. *Microcossonus wallacei* Wollaston (New Guinea).
 E. *Coptodes caudex* Matshall (Cochin China, type).
 F. *Conisius yaeyamanus* Morimoto (Iriomote, type).
 G. *Pentarthrum huttoni* Wollaston (England).
 H. *Tychiodes adamsii* Wollaston (Awashima, type).

- 70(69) 前脛節端跗節面はときに外方へ鈍く突出する。頭部のくびれは眼から離れる。
 71(72) 触角柄節端は中間節より短い。前肢基節はわずかに離れる…………… *Rhyncolus* Germar
 (= *Eremotes* Wollaston)
 72(71) 触角柄節は中間節より長い。
 73(74) 中胸腹板基節間突起は多少とも圧せられて前胸と後胸腹板より窪んでいる。前肢基節は前胸後縁に近く位置し、基節前方はやや膨れる。吻は短く、体は円筒状。各肢の基節はそれぞれ広く離れる…*Sphaerocorynes* Wollaston
 74(73) 中胸腹板突起は前・後胸腹板と同一面を形成する。

- 75(76) 吻は頭部よりやや長く、体は多少偏平…………… *Orthotemnus* Wollaston
 76(75) 吻は頭部と等長かより短く、体は円筒状。
 77(78) 吻は先方に細まり、幅よりやや長い。腹部第1節の後基節間突起は前肢基節間より狭い…………… *Macrancylus* Leconte
 78(77) 吻はより短くて多少横長。腹部第1節の後基節間突起は前肢基節間より狭くない…………… *Pachyops* Wollaston

1. *Dryotribus* Horn, 1873.

今迄に記録された4種のうち2種はハワイ、1種はジャワ海の Kombuis から記載され、下記の

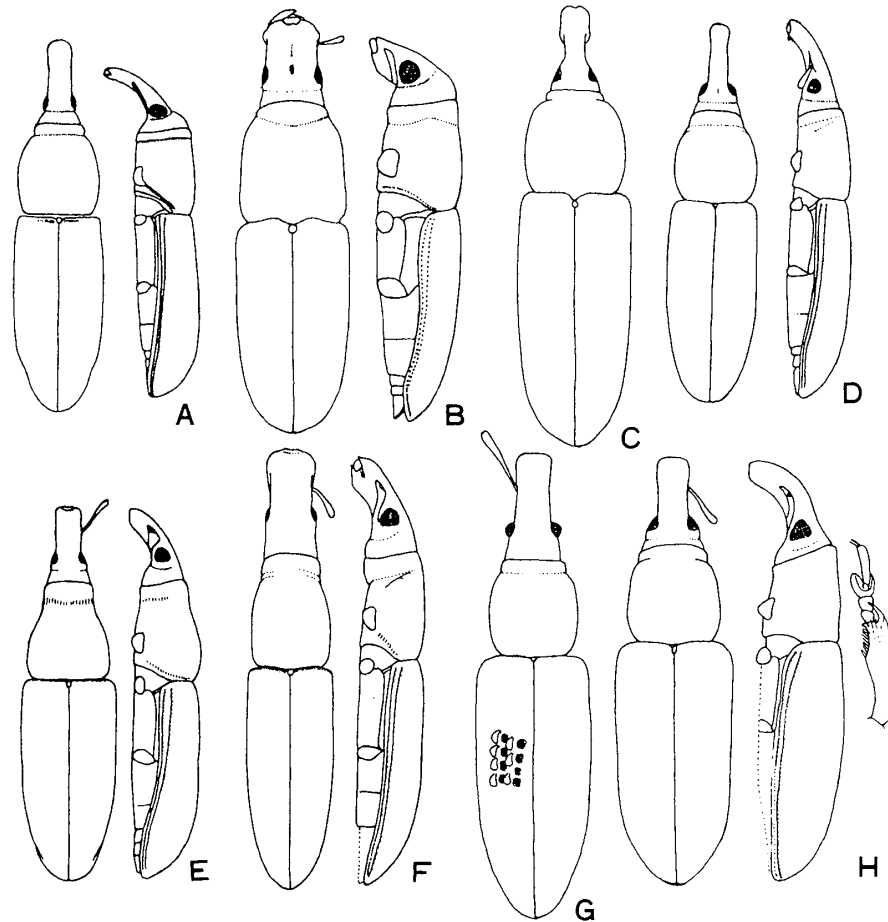


Fig. 2. A. *Toura longirostre* Wollaston (New Zealand).
 B. *Stereoborus robustus* Wollaston (New Guinea).
 C. *Cossonus linearis* (Fabricius) (Germany).
 D. *Pseudocossonus brevitarsis* Wollaston (Japan).
 E. *Heterarthrus lewisii* Wollaston (Nagasaki, type).
 F. *Conarthrus tarsalis* Wollaston (Makian I., type).
 G. *Pholidoforus squameus* Wollaston (Nagasaki).
 H. *Exodema sublutosa* Wollaston (Hiogo, type).

種が日本にも分布している。

Dryotribus mimeticus Horn, 1873

ハマベキクイゾウムシ

海流によって材と共に分布を拡大している種で、フロリダから最初記載されたが熱帯地域の太平洋の島々に広く分布し、日本では琉球から本州南岸、八丈島、裏日本は青森県まで海岸の枯木からとれている。石垣島と北大東島から記載された *Pentacotaster nagayamai* Chujo et Voss はタイプを調べた結果、すでに Konishi (1962) が指摘している通り本種と同物である。

小笠原父島には未記載の別種がいて、上翅の間室に横しわ状または小顆粒の列があって短刺毛を1列に装うことで区別できる。

2. *Microtribus* Wollaston, 1873

Microtribus splendidus Konishi, 1962.

ドウイロマルバネキクイゾウムシ

銅色光沢をもつ美しい種で、沖縄、奄美大島、佐多岬、父島、母島から知られている。

3. *Isodryotribus* Konishi, 1962.

Isodryotribus squamosus Konishi, 1962.

ツヤマルバネキクイゾウムシ

本種をタイプとして新属が創設されたもので、肩の丸くなった上翅は前2属に似ている。トカラ宝島から記載されただけで、以後の記録はない。

4. *Choerorhinus* Fairmaire, 1857.

日本のこの属は Konishi (1960) によって纏められている。

Choerorhinus gronopiformis (Wollaston, 1873)

Lewis が長崎領事館の古いツバキから採集標本に基き *Pentacoptus* 新属で記載されたもので、その後は高知県沖の島のミカン枯木から1頭とれているだけである。台湾には未記載の近似種がいる。

Choerorhinus explanatus Konishi, 1960. ヒレアミメキクイゾウムシ

上翅端が板状に張出すことが特徴で、神奈川県茅ヶ崎が原産地。その後多摩川上流、伊豆の土肥、大阪、熊本でケヤキやタブの枯枝からとれ、また灯火にも飛来している。

5. *Stenotrumpis* Wollaston, 1873.

この属はニューージーランド、サモア、ハワイ、

ニューギニア、セーシェル、マダガスカルなどから30種ほど知られている。

Stenotrumpis sp. 1.

exilis Pascoe に似るが翅端で第2・3間室が隆起しない点で異なる。2.1~2.2mm。奄美大島から台湾にかけて分布する。

Stenotrumpis sp. 2.

セーシエルの *crassipes* Champion に似る。点刻の中は光沢がなく、やや大型。3.6~4.0mm。小笠原(父島、母島)。

6. *Microcossonus* Wollaston, 1873.

オーストラリア、ニューギニア、ジャワから各1種ずつが知られているが、西表島から未記載の種が1頭とれている。

7. *Coptodes* Marshall, 1953.

ベトナムから *caudex* をタイプに創設された属で、沖縄から西表島にかけて1種が分布する。

8. *Conisius* Morimoto, 1973.

Conisius yaeyamanus Morimoto, 1973.

ナガチビキクイゾウムシ

石垣・西表両島に分布する1.5~1.7mmの小型種。

9. Genus A.

1種が宮古島と台湾からとれている。

10. *Pentarthrum* Wollaston, 1854.

主に南半球の熱帯各地から75種余が知られる大きな属であるが、Broun がニューージーランド産の多くの属を設定したように将来は細分される可能性がある。

Pentarthrum angustissimus Wollaston, 1873.

イツヒゲキクイゾウムシ

長崎の標本で記載されたが、トカラ中之島から西表島にかけて分布する。前胸の長さは幅の1.3倍。2.6~2.8mm。

Pentarthrum sp. 1.

体は細長く、前胸の長さは幅の1.5~1.6倍。1.8~2.3mm。石垣・西表島に分布。

Pentarthrum sp. 2.

前胸は基部直前で最大幅となり、前方へ直線状に狭まる。第9間室は基部1/3から端まで隆起して顆粒をそなえる。2.4mm。小笠原母島。

11. *Tychiodes* Wollaston, 1873.

Tychiodes adamsii Wollaston, 1873.

ヒラタハバビロキクイゾウムシ

暗褐色偏平で卵形の体形はククイゾウムシ亜科でも特異で、近似属は *Tychiosoma* だけである。本種は栗島で Adams が採集した標本に基いて記載されたが、大英博物館には対馬で Adams が得たもう1頭の標本がある。私はこの2頭以外の標本を見たことがないが、偏平な体形から樹皮下に生活するものと思われる。

12. *Microtribodes* Morimoto, 1973.

Microtribodes formosanus Morimoto, 1973.

タイワンマルバネククイゾウムシ

台湾から記載したが与名国島でもとれている。小さな小楯板がもし完全に消失すると *Isodryotribus* と区別できなくなるように思われる。

13. Genus B.

14. Genus C.

15. *Toura* Broun, 1909.

上記3属はよく似ており、Broun がニュージーランドから記載した他の近似属と共に再検討が必要である。Genus B には石垣島から1種、Genus C には宮崎と小笠原から各1種、*Toura* には小笠原から1種の未記載種を得ている。宮崎の種は枯れたクロマツ小枝から採集した。

16. *Stereoborus* Wollaston, 1873.

光沢の強い黒色円筒状の一群に Wollaston は *Stereo-* の接頭語をもつ4属を作り、Faust も1属を創設したので、この仲間を *Stereo-complex* とよばれることがある。これらはオーストラリア、ニューギニアからジャワ、セイロンに分布するもので、日本からは *Stereoborus* の1種が屋久島でとれている。

17. *Heterophaseolus* Voss, 1957.

Phloeophagosoma 属で記載された3種がこの属のもので、ニューギニア、セレベス、ジャワなどから知られていた。日本では西表島で1頭がとれている。一見 *Cossonus* に似る。

18. *Cossonus* Clairville

枯木樹皮下にすむ偏平な美しい仲間、世界各地から250種ほどが知られている。

日本産 *Cossonus* 属の種への検索表

1(2) 吻は先でわずかに広くなり、最大幅は最小

幅の1.1倍。吻は短く長さは幅の1.1倍。前胸背板は無点刻の中央条が基部 $\frac{3}{4}$ にあり、その両側はほとんど窪まない。3.2~5.8mm。小笠原…………… *Cossonus* sp. 1.

2(1) 吻は触角付着点から先で強く拡がってへら状。

3(4) 前肢基節の間隔は基節と同幅。体は強く圧せられた偏平。前胸背板の中央に点刻のない縦条が全長にわたってあり、その両側は不規則な2列状に強く点刻され、さらにその外側に幅広く点刻のほとんどない部分がある。4.3~5.5mm。本州、四国、九州…………… *Cossonus* sp. 2.

4(3) 前肢基節の間隔は基節幅の $\frac{1}{2}$ ~ $\frac{2}{3}$ 。体はそれほど偏平でなく、前胸背板中央の無点刻縦条は中央から前で不明瞭となり、その両側は不規則に点刻される。

5(6) 前胸腹板の前肢基節間隔は基節幅の半分。吻の幅広い部分は横長で、最大幅部から先へ狭くなる。前胸背板は中央が全長にわたって強い点刻をやや粗く装い、無点刻縦条は中央から後にある。雄の後脛節は後方へ強く拡がり、最大幅部は腿節より広い。4.9~6.5mm。本州、四国、九州、アムール…………… *C. tibialis* Folwaczny

6(5) 前胸腹板の前基節間隔は基節幅の約 $\frac{2}{3}$ 。雄の後脛節は雌と同形。吻の幅広い部分は両側平行か、やや先へ広くなる。

7(8) 吻は短く、長さは幅の1.1~1.3倍、幅広い部分は横長。前胸背板は一様に点刻され、中央部の点刻はやや大きく、無点刻中央条は細くて基部 $\frac{2}{3}$ にある。3.2~5.4mm。九州(佐多岬)、トカラ中之島…………… *Cossonus* sp. 2.

8(7) 吻の長さは最大幅の1.5倍以上。

9(10) 前胸背板中央基部の強く点刻された部分はほとんど窪まず、無点刻条は通常不明瞭。吻の幅広い部分はやや横長。3.7~5.3mm。石垣島、西表島、台湾…………… *Cossonus* sp. 3.

10(9) 前胸背板中央にある強く点刻された部分は三角状にやや窪み、無点刻の中央条がある場合が多い。吻の幅広い部分は長さと同幅が等しい。

11(12) 前胸背板は中央の強く点刻された部分の両側にほとんど点刻のないまたは小さな点刻を粗布する平滑部分がある。吻は雌雄同形。

3.8~4.7mm。沖縄と西表島…*Cossonus* sp. 4.

12(11) 前胸背板中央両側は側縁部と同大の点刻を粗布する。雄の吻は基部で肥厚し、横から見ると基部から先へくさび型に細まる。4.9~

6.0mm。北海道, 本州…*C. gibbistrotris* Roelofs

Cossonus tibialis Folwaczny, 1964.

アシプトヒラタキクイゾウムシ

アムールから記載されたもので日本新記録。ブナなどの倒木皮下でとれる。

ワシバナヒラタキクイゾウムシ

Cossonus gibbistrotris Roelofs, 1875.

北海道産の標本で記載されたもので、日本からの既知種が本種だけであったことから数種が混同されて記録されてきた可能性がある。この属には上記検索表に含めた未記載種の他にもう2種いる可能性があるので、多数の標本で再調査が必要である。

19. *Pseudocossonus* Wollaston, 1873.

Pseudocossonus brevitarsis Wollaston, 1873,

カグヤヒメキクイゾウムシ

大型で光沢の強い美しい種で、マダケなどのタケノコを加害する。5.3~6.0mm。本州, 九州。

Pseudocossonus brachypus Wollaston, 1873.

チビカグヤヒメキクイゾウムシ

上翅基部が縁どられることと、小型(3.7~3.9mm)であることで前種から区別できる。同じくタケノコにつく。本州, 九州。

20. *Heterathrus* Wollaston, 1873.

Wollaston は長崎から3種を記載したが、現在 *Conarthrus* に含まれている種のいくつかは本属のものと思われる。

日本の *H. pictus* Wollaston と同定すべきものは上翅基部の縁取りが明瞭でなく、枯れたササの中からとれている。

H. lewisii Wollaston チッパネキクイゾウムシと *pallidipennis* Wollaston はクズやフジの枯びるに多く、恐らく同種の個体変異と思われる。成熟した成虫は頭部と前胸が黒く、上翅も側縁と会合部は黒い。伊豆諸島や琉球には前胸と頭部が上翅

同様褐色のものがいるが、これも同種と思われる。

21. *Conarthrus* Wollaston, 1873.

前属の *pictus* はこの属へ移すのが至当であると思われる。タケ類につく種がもう1種日本にいる。

22. Genus D.

トカラ中之島から1種だけとれている。

23. *Pholidoforus* Wollaston, 1873.

Pholidoforus squamosus Wollaston, 1873.

メダカケブカキクイゾウムシ

台湾, 琉球, 九州南岸, 伊豆諸島に多い。

24. *Exodema* Wollaston, 1873.

Exodema sublutosus Wollaston, 1873.

兵庫産の標本で記載されたもので、その後の記録はない。

25. *Coprodema* Wollaston, 1873.

Coprodema calandraeformis Wollaston, 1873.

アトキリキクイゾウムシ

上翅端が裁断状をしている点で、日本産の全キクイゾウムシから区別できる。本州, 九州。

26. *Xenomimetes* Wollaston, 1873.

日本のこの属は Konishi (1955) により纏められたが、下記の種がいる。

日本産 *Xenomimetes* 属の種への検索表

- 1(6) 上翅の第1~3間室は傾斜部で同じ高さ。
- 2(3) 上翅の第1~3点刻溝は傾斜部でも深くて翅端に達する。上翅は傾斜部まで一様に光沢がある。2.7~3.0mm。タブなどの材に穿孔する。本州, 四国, 琉球……………
…………… *X. tenuis* Morimoto et Miyakawa
- 3(2) 上翅の傾斜部は皮革状となって光沢を欠き、第1~3点刻溝はそこで細く浅くなる。
- 4(5) 上翅端は丸味をおび、前胸背板は不明瞭な中央無点刻部を除いて一様に点刻される。北海道, 本州, 四国, 九州。マツに多い……………
…………… *X. destructor* Wollaston
- 5(4) 上翅端は明瞭な角をなし、前胸背板は中央の他に1対の小さな無点刻部がある。北海道, 本州…………… *X. sp. 1.*
- 6(1) 上翅の第1, 3間室は傾斜部で強く隆起し、第2間室より明らかに高い。
- 7(8) 上翅第1間室は傾斜部で弱く隆起し、第1, 2点刻溝は直線状。北海道, 本州, 九州……

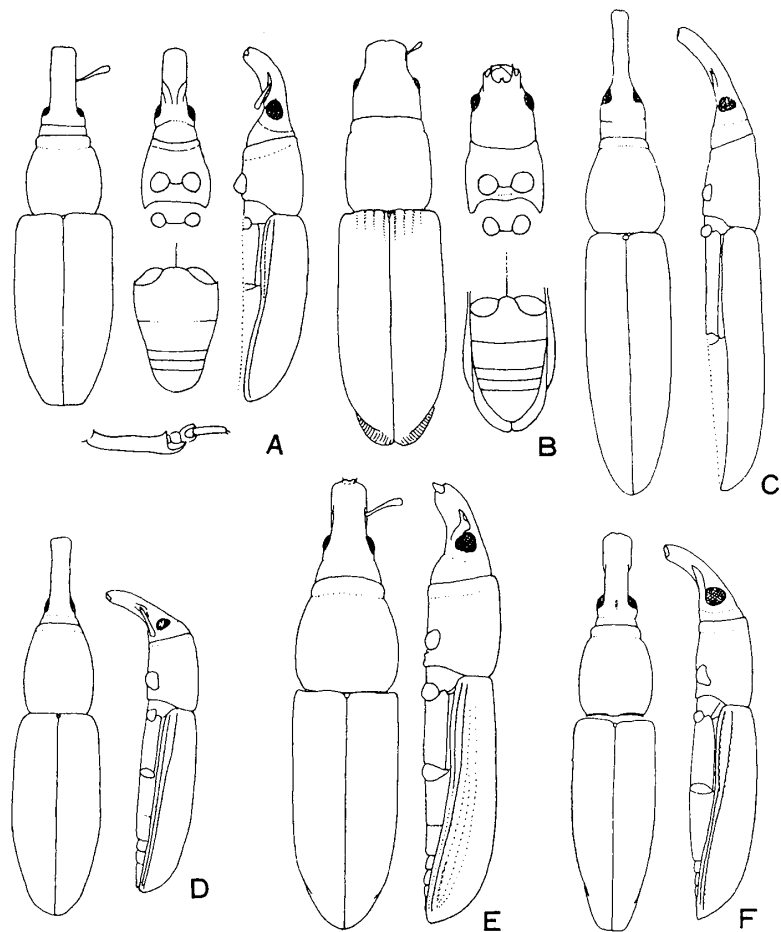


Fig. 3. A. *Coprodema calandraeforme* Wollaston (Japan).
 B. *Xenomimetes destructor* Wollaston (Nagasaki).
 C. *Proeces macer* Boheman (Madagaskar).
 D. *Phloeophagosoma minutum* Wollaston (Shimabara, type).
 E. *Macrorhyncolus crassiuscurus* Wollaston (Hiogo).
 F. *Oxydema fusiforme* Wollaston (Ceylon).

..... X. sp. 2.
 8(7) 上翅第1間室は傾斜部で強く隆起し、その横で第1, 2点刻溝は外側へ曲る。北海道, 本州, 四国, 九州..... X. *alni* Konishi
Xenomimetes destructor Wollaston, 1873.
 マツコブキクイゾウムシ
 枯れて2年目以降のマツに多い。
Xenomimetes tenuis Morimoto et Miyakawa, 1985.
 ホソコブキクイゾウムシ
 タブの樹幹枯死部に穿孔する。
Xenomimetes alni Konishi, 1955.
 ハンノキコブキクイゾウムシ
 北海道から九州まで各地に多く、ハンノキ, シナノキ, センノキ, ブナなどの材部に穿孔する。

27. *Catolethrobium* Voss, 1939.
 この属は *Catolethrus* の亜属として記載されたもので、セーシエルの *silvestris* Kolbe, *compressicollis* Champion, 及びサモアの *praeustum* Marshall が含まれる。これらはいずれも *Proeces* 属で記載されている。日本には小笠原に1種いる。
 28. *Proeces* Schoenherr, 1838.
 マダガスカルとレユニオンなどから10種が知られるが、小笠原に1種いる。アジアから最初の記録である。
 29. *Phloeophagosoma* Wollaston, 1873.
 Wollaston の論文中最も定義があいまいな属で、*Oxydema* や *Orthotemnus* 属のものが含まれ、一部は Voss が *Heterophaseolus* へ移している。

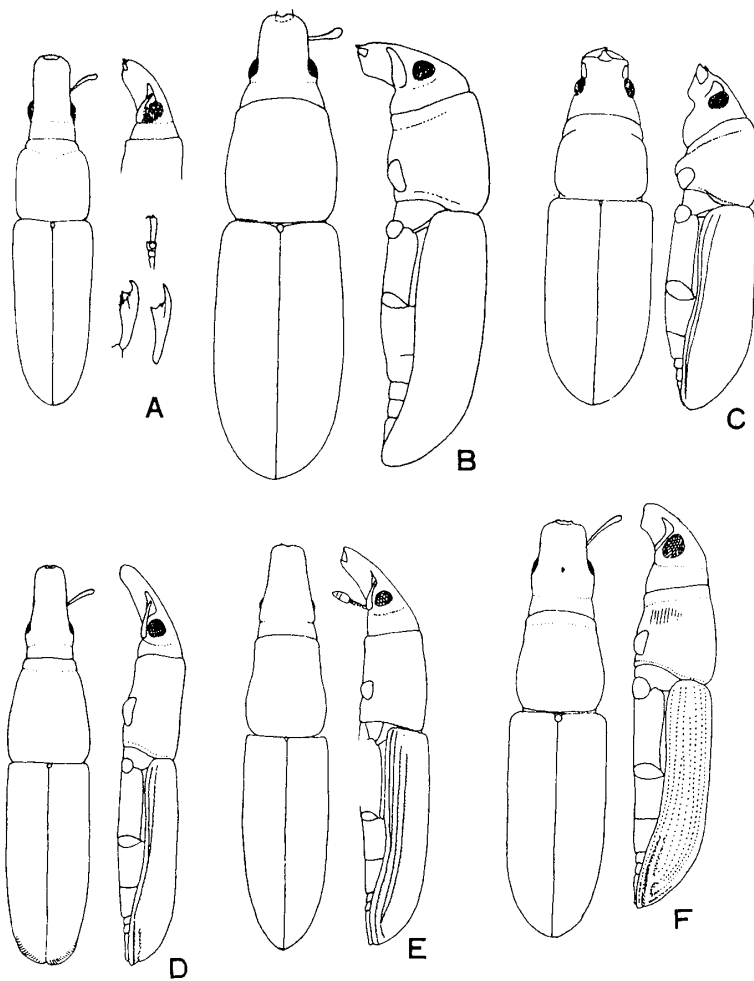


Fig. 4. A. *Coptus oculatus* Wollaston (Sula, type).
 B. *Rhyncolus chloropus* (Linné) (Germany).
 C. *Sphaerocorynes lewisianus* Wollaston (Nagasaki, type).
 D. *Orthotemnus reflexus* Wollaston (New Guinea, type).
 E. *Maclancylus linearis* Leconte (Florida).
 F. *Pachyops cylindricus* Wollaston (Borneo).

この属は *Phloeophagosoma* s. str. と *Amorphorhynchus* の2亜属に区別されているが、各々独立属として扱うのがよさそうである。

Phloeophagosoma (s. str.) *minutum* Wollaston, 1873.

長崎の島原から記載されたもので、前胸側縁は一樣に曲り、中央やや後方で最大幅になる。四国、九州。2.0mm。

Phloeophagosoma (s. str.) *emotoi* Morimoto et Miyakawa, 1985.

関東山地と御蔵島から記載されたもので、江本氏はグミの枯枝中から採集している。前胸は基部近くで最大幅となり、やや大型(2.7~3.1mm)。この亜属にはよく似たものがあと3種日本にい

る。

Phloeophagosoma (*Amorphorhynchus*) *curvirostre* Wollaston, 1873.

ワシバナヒメキクイゾウムシ

本州から屋久島までの各地に多く、ヤシヤブシなど広葉樹の枯木につく。

奄美大島から西表島にかけてはよく似た別種がいて、前胸の側縁はやや丸味が強く、吻の触角溝上縁の稜はより強い。

30. *Macrorhyncholus* Wollaston, 1873.

属名に *Macro* についているが、中型のキクイゾウムシである。この属と近似属については再検討が必要で、Zimmerman (1956) のいう *Macrancylus* や *Aphanocorynes* の中にこの属へ移すべ

き種がある様に思われる。

Macrorhyncholus crassiusculus Wollaston, 1873.

マツオオキクイゾウムシ

本州から沖縄まで枯れたマツの樹皮下に多い。近似の別種が琉球にあと1～3種いるが今のところ標本が少なくて正確に同定できない。

31. *Aphanocorynes* Wollaston, 1873.

オーストラリアとサモア, ニューギニアから6種が知られ, 石垣島から1種とれている。

32. *Oxydema* Wollaston, 1873.

Phloeophagosoma から少なくとも6種は本属へ移すべきで, 12種以上が太平洋の島に分布する。

Oxydema fusiforme Wollaston, 1873.

ジャワ, セイロン, マダガスカル, グアムなどから知られ, 小笠原にもいる。

Oxydema longulum (Boheman, 1859)

太平洋の島々に広く分布し, 日本では伊豆半島, 足摺岬, トカラ中之島から採集されており, タブの材に穿孔する。

Oxydema sp.

大英博物館には *Phloeophagosoma opacum* Lewis とラベルされた標本があり, 本州から石垣島まで広く分布している。

33. *Coptus* Wollaston, 1873.

ニューギニアやセーシェル, インドなどから5種が知られ, 台湾とトカラ中之島から1種とれている。

34. *Rhyncholus* Germar, 1817.

Voss (1955) によると属の模式種は *chloropus* (= *ater*) で, *Eremotes* はシノニムである。

日本産 *Rhyncholus* 属の種への検索表

1(2) 上翅の第7間室は幅広い張出しとなって翅端部を縁どる。吻は前方へ狭くなる。北海道
..... *R. sp. 1.*

2(1) 上翅端に張出しはない。

3(4) 上翅の間室は, 少なくとも第5～9間室で稜状をしている。北海道, 本州..... *R. sp. 2.*

4(3) 上翅の間室は第9間室を除いて稜状を呈せず, わずかに隆起する。北海道.....
..... *R. elongatus* (Gyllenhal)

Rhyncholus elongatus (Gyllenhal, 1827)

クロトドクイゾウムシ

北海道ではトドマツにつき, 千島からヨーロッパまで分布する。

35. *Sphaerocorynes* Wollaston, 1873.

日本産 *Sphaerocorynes* 属の種への検索表

1(2) 体は光沢のない茶褐色。吻中央の溝は深く, 眼の間にも小さな窪みがある。2.5～2.4mm。
佐多岬から台湾まで分布し, やや多い.....
..... *S. sp. 1.*

2(1) 体は多少とも光沢がある。

3(4) 吻は短く, 長さは幅の½に達しない。上翅第9間室は後肢基節の上から第3腹節付近まで稜状。2.3～3.5mm。

小倉福智山, トカラ中之島..... *S. sp. 2*

4(3) 吻は短く, 長さは幅の½をこえる。第9間室は隆起するが, 稜を形成しない。

5(6) 上翅端直前で第1～3間室は連続する。
3.8～4.0mm。本州, 九州.....
..... *S. sulcirostre* (Voss)

6(5) 第1～3間室は連続しない。2.8～3.6mm。
本州, 九州..... *S. lewisianus* Wollaston

Sphaerocorynes lewisianus Wollaston, 1873.

リュイスチャバネキクイゾウムシ

この属の模式種で, 長崎が原産地。少ない。

Sphaerocorynes sulcirostre (Voss, 1957)

青森から *Macrorhyncholus* (?) で記載されたもので, 前種に似るが大きい。英彦山ではサルナシの枯枝から採集した。

36. *Orthotemnus* Wollaston, 1873.

オーストラリア, ニューギニア, セーシェルから4種が知られ, 琉球から台湾にかけて1種が分布する。

37. *Macrancylus* Leconte,

Zimmerman (1956) によるとニュージーランド, ガラパゴス, ハワイ, アメリカ海岸, サモア, グアムに8種が分布する。日本には宮古島から西表島にかけて1種いる。

38. *Pachyops* Wollaston, 1873.

ギルネオとジャワから各1種が知られるが, 日本では小笠原, 九州, トカラ中之島に3種が分布し, 広葉樹の枯枝につく。